

アンケート調査・地域懇談会の実施方針

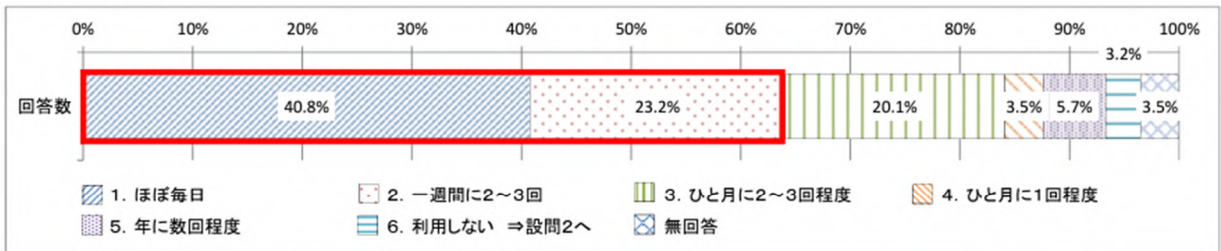
I 区民アンケート調査

(1) 調査の目的

現行基本構想の改定に向け、区民による主要施設や交通施設等の利用状況や満足度、具体的な課題を幅広く把握することを目的とします。また、現行基本構想策定時に調査したアンケート調査結果と比較することにより、現行基本構想の評価に活用することも目的とします。

設問1 区内の【鉄道駅（地下鉄）】の状況について

1) 鉄道にはどのくらい乗りますか。 n=314



2) 区内で、もっともよく利用する駅はどこですか。 n=293 (区外を回答の21を除く)

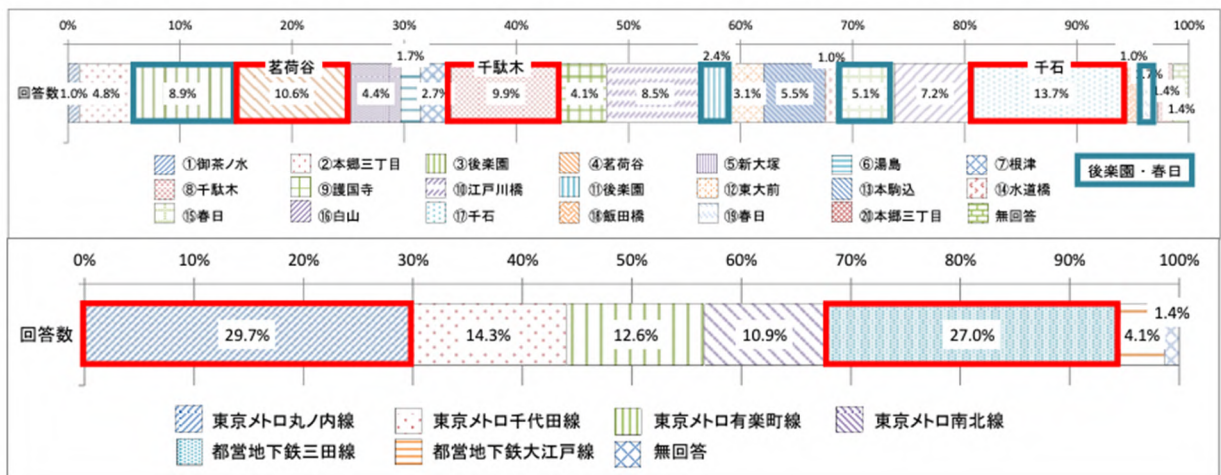


図 現行基本構想策定時のアンケート調査結果(一部)

(2) 調査方法等

調査対象	住民基本台帳を基に無作為抽出した区内在住者(満18歳以上)
調査方法	郵送配付・郵送回収(1,000票配布) ※回収率を高めるため、WEBで回答もできるように、調査票にQRコードを添付します。
調査期間	令和7年5~6月を予定
調査項目	前回調査時の調査項目を基本的に踏襲 ○鉄道・バス・タクシー・道路・区内施設の利用状況や満足度、具体的な課題等 ○心のバリアフリー・情報バリアフリー・観光のバリアフリーの認知度や課題等
結果の活用	○前回調査結果と比較・分析し、現行基本構想の評価に活用 ○代表的なバリアフリー課題を把握し、移動等円滑化に向けた配慮事項等に反映 ○個別具体のバリアフリー課題を把握し、施設設置管理者等に共有のうえ、特定事業等の検討に活用

2 障害者・高齢者団体アンケート調査

障害者・高齢者団体アンケート調査は、区内の障害者・高齢者団体を対象に、アンケート調査では捕捉できない当事者意見を収集することを目的に実施します。

なお、アンケートの調査項目は、上記の区民アンケート調査の調査項目と同様とし、より具体的な意見を記載できる調査票とします。

3 地域懇談会

(1) 実施の目的

現行基本構想の改定に向け、現行基本構想の重点整備地区別(5地区)に、協議会の区民委員や関係団体当事者等による主要施設や交通施設等の利用状況や利用しやすさ、具体的な課題を把握することを目的とします。また、現行基本構想の計画期間(10 年間)におけるバリアフリー状況の評価についても把握します。

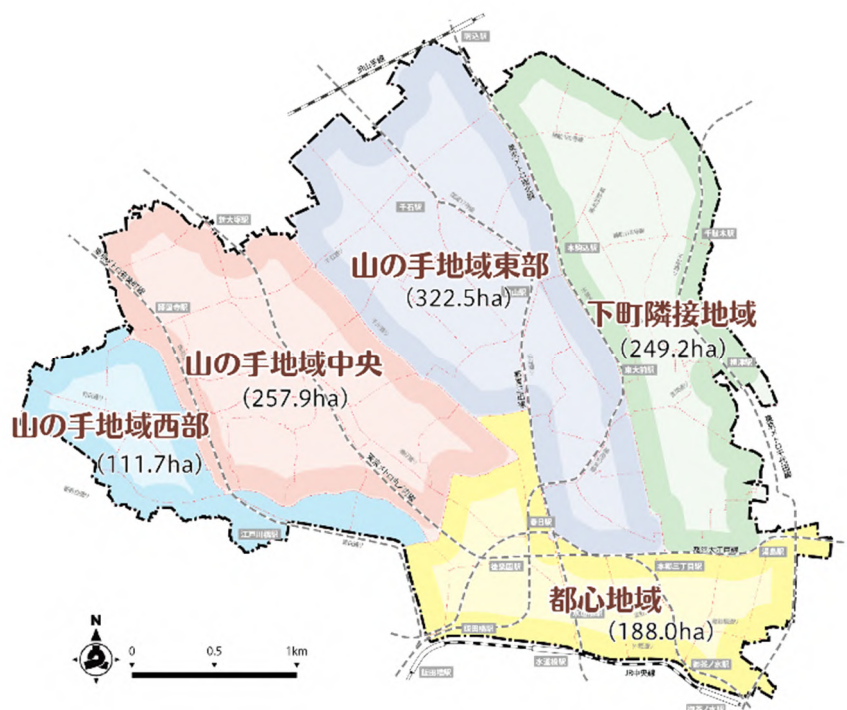


図 重点整備地区(5地区)

(2) 実施方法等

参加対象	協議会の区民委員、区民委員のご紹介者(関係団体当事者等)など
実施方法	重点整備地区別(都心地域、下町隣接地域、山の手地域東部、山の手地域中央、山の手地域西部)に、ワークショップ形式によるヒアリング調査を実施
実施日程	令和7年6月を予定
結果の活用	<ul style="list-style-type: none"> ○現行基本構想の計画期間におけるバリアフリー状況の評価についてヒアリングし、現行基本構想の評価に活用 ○代表的なバリアフリー課題を把握し、移動等円滑化に向けた配慮事項等に反映 ○個別具体のバリアフリー課題を把握し、施設設置管理者等に共有のうえ、特定事業等の検討に活用

(3) プログラム案

項目	時間	内容
1. 開会・説明	13:30 (15分)	○開会挨拶 ○本日の目的及びプログラム
2. 懇談	13:45 (15分)	○参加者自己紹介 ○懇談の進め方の説明
	14:00 (70分)	○テーマ・地区ごとに懇談 <主なテーマ> ①バリアフリー化されてよくなった点 ②更なるバリアフリー化が必要な点
	15:10 (15分)	○地区ごとに懇談結果を発表
3. 閉会	15:25 (5分)	○総括・閉会挨拶